

平成 27 年度決算 事業等説明資料

(単位：円)

会計名		水道事業会計				
設置目的		安心・安全な水の供給				
決 算	項 目		決算額			増減内訳・理由
			H27	H26	増減	
	収益的 収 支 (税抜き)	収入①	358,877,634	360,653,745	△1,776,111	給水収益 △1,537,496
						長期前受金戻入 △137,192
		支出②	321,922,136	335,702,585	△13,780,449	一般職職員人件費 (原水及び浄水費) △8,275,891
						嘱託職員報酬 (総係費) △1,837,350
						修繕料 (配水及び給水費) △1,598,129
						減価償却費 +958,536
						資産減耗費 △2,201,674
						その他特別損失 △4,905,006
	企業債利息 △185,659					
	純利益 (①-②)		36,955,498	24,951,160	+12,004,338	
	資本的 収 支 (税込み)	収入①	158,515,600	181,400,800	△22,885,200	企業債 △21,600,000
支出②		386,387,467	287,290,204	+99,097,263	建設改良費 +96,164,027 企業債償還金 +2,933,236	
収支不足額 (①-②)		△227,871,867	△105,889,404	△121,982,463		
※収支不足額 227,871,867 円については、減債積立金 30,000,000 円、建設改良積立金 20,000,000 円、消費税及び地方消費税資本的収支調整額 20,195,014 円、損益勘定留保資金 157,676,853 円で補てんした。						
決算概要	【決算の特徴】 ・収益的収支については、減価償却費など一部の費目で増があったものの、給水収益の減、機構改革に伴う職員 1 名の減及び嘱託職員の不配置などによる人件費の減、漏水修繕経費やその他特別損失などの減等により、収入、支出とも総額は減少した。 ・また、純利益については、上記の支出減少などにより、前年度に比べ約 12,000 千円増の 36,955 千円となった。 ・資本的収支については、建設改良費の増により支出は増加したものの、繰越事業に係る企業債について前年度に発行したものが多かったため、収入は減少した。					
	【特記事項】 ・簡易水道事業との経営統合を控え、将来に向けた「安全・安心な水」の安定供給を図るため、基幹的な浄水場の大規模改修と老朽化した石綿管の布設替を積極的に実施した。 ・H27 年度末の企業債残高は 2,093,475 千円 (対前年度比+66,108 千円)					
備考						
担当室・係	建設部 上下水道課 管理係			TEL	0772-45-1633	特-10